

技術評価証

【技術名称】

環境配慮コンクリート「T-eConcrete/Carbon-Recycle」

【依頼者】

大成建設株式会社

【有効期間】

下記発行日から5年間

【技術評価】

技術評価委員会は、評価を依頼された「環境配慮コンクリート『T-eConcrete/Carbon-Recycle』」の評価対象項目について厳正かつ慎重に審議を行い、以下のとおり評価した。

1. 「T-eConcrete/Carbon-Recycle」の硬化特性

「T-eConcrete/Carbon-Recycle」の硬化特性は、「混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針（案）」が対象とする混和材を大量に使用したコンクリートの硬化特性と同等であることを依頼者が実施した試験データに基づき確認した。

2. 「T-eConcrete/Carbon-Recycle」を用いた構造物の設計

「T-eConcrete/Carbon-Recycle」を用いた構造物は、「混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針（案）」に準拠して設計できることを依頼者が実施した試験データに基づき確認した。

3. 「T-eConcrete/Carbon-Recycle」のフレッシュ特性

「T-eConcrete/Carbon-Recycle」は、2023年制定コンクリート標準示方書〔施工編：施工標準〕11章の高流動コンクリートと同等のフレッシュ特性を有することを依頼者が実施した試験データに基づき確認した。

本評価の対象範囲および適用上の留意点

- 本評価の対象とする「T-eConcrete/Carbon-Recycle」は、ポルトランドセメントを使用せず、混和材の質量の45.5～50.0%を高炉スラグ微粉末とし、CO₂を資源とする炭酸カルシウムを用いたコンクリートとする。
- CO₂を資源とする炭酸カルシウムは、日本コンクリート工学会「コンクリートにおける石灰石微粉末の実用性に関する研究委員会報告書 付録：品質規格（素案）コンクリート用石灰石微粉末」およびJIS R 5210に示される品質を満足するものとする。
- 空気量は時間経過に伴い低下する傾向があるため、打込み時に目標空気量を確保できるよう、圧送を含む運搬や経時変化の影響を考慮して、配合設計上の目標空気量を適切に設定する。

以上

令和8年9月18日



公益社団法人

土木学会

会長 小澤 一雅

